

陸奥湾沿岸津波講演会

この陸奥湾沿岸津波講演会は、津波による災害リスクを正しく知り、自らの命を守ること、迅速な避難・地域防災力の強化に繋がるよう開催されるものです。

更に、県から、令和3年5月に公表した下北八戸沿岸、陸奥湾沿岸、津軽沿岸の「津波浸水想定」について、さらに、令和5年3月に指定した「津波災害警戒区域（イエローゾーン）」についての説明があります。

日時： 令和6年11月2日（土）13時00分より
場所： リンクステーションホール青森（青森市文化会館）大会議室
青森市堤1丁目4番1号
Tel 017-773-7300

参加費： 無料

<申込方法>

10月15日（火）までに、「あおもりの川を愛する会」事務局まで、メール・FAXにてお申込み下さい。

※この講演会はCPD並びにCPDS認定講習になります。

おいらせ町 川口地区



八戸港



次 第

13:00～13:10 あいさつ

13:10～14:10 講演
「陸奥湾沿岸の最大クラスの津波と地域の
防災力向上について（案）」

講師 八戸工業大学
名誉教授 佐々木 幹夫氏

(休憩)

14:20～14:50 講演
「津波浸水想定と津波災害警戒区域の指定に
ついて（案）」

14:50～15:00 質疑・応答

講師 青森県県土整備部河川砂防課
河川・海岸グループサブマネージャー
主幹 畑山 賢司氏

主催：青森県・あおもりの川を愛する会
共催：（一社）青森県測量設計コンサルタント協会
後援：（公社）日本技術士会青森県支部

青森県県土整備部河川砂防課 河川・海岸グループ
青森市長島一丁目1番1号
あおもりの川を愛する会 事務局 今 広幸
青森市大字荒川字柴田102-1

※参加申込方法はQRコードから読取りできます



TEL017-734-9662 FAX017-734-8191

TEL017-729-0922 FAX017-739-3561

Mail:kon-h@nishidagumi.co.jp

◆ 概 要 ◆

甚大な被害を受けた日本海中部地震から 41 年、また東日本大震災から 13 年が経ち、その間、大学等の研究機関や青森県・国土交通省等の行政機関において、津波に関する様々な調査、検討が行われてきました。

青森県においても、「平成 23 年東北地方太平洋沖地震に起因する津波災害を踏まえた海岸津波対策に係る津波の高さの決定に係る専門家の助言を得るため」、佐々木幹夫八戸工業大学名誉教授（当体会長）を座長とする学識経験者により構成された「青森県海岸津波対策検討会」が、平成 24 年（2012 年）1 月に設置されました。検討会において沿岸毎に段階的な津波浸水想定の設定が進められ、平成 27 年 3 月に県内全沿岸の設定が完了しました。

その後、令和 2 年 4 月に国が新たな巨大地震モデルを公表したことを受け、検討会において津波浸水想定の見直しを進め、令和 3 年 5 月に新たな「津波浸水想定」が公表されました。

今回の陸奥湾沿岸津波講演会は、当体会長であり、同検討会座長であった佐々木幹夫八戸工業大学名誉教授から、東日本大震災から得られた多くの教訓及び様々な検討の成果や最新の知見に基づいた「陸奥湾沿岸の最大クラスの津波と地域の防災力向上について」と題した講演を行います。

また、県から令和 3 年 5 月に公表した「津波浸水想定」及び令和 5 年 3 月に指定した「津波災害警戒区域」について説明するとともに、地元の身近な街並みに津波が襲来する 3 次元 CG 動画なども紹介します。

なお、本津波講演会は、平成 28 年度に中泊町での開催に始まり、深浦町、鱒ヶ沢町、むつ市、深浦町（田野沢地区）、おいらせ町において 6 回開催し、延べ 726 名の方々の参加がありました。

申 込 書

所 属 : _____

申 込 者 氏 名 : _____

住 所 : _____

緊急連絡先（電話番号） : _____

（以下、団体単位での参加の場合に記入願います。）

団体名及び代表者 : _____

総 参 加 人 数 : _____

住 所 : _____

緊急連絡先（電話番号） : _____

あおもりの川を愛する会事務局行き

（ FAX の場合 → 017-739-3561 ）

（ メールの場合 → kon-h@nishidagumi.co.jp ）

※ご記入頂いた個人情報は、本講演会に関するご案内、ご連絡以外には使用致しません。